

令和3年度・第2回 放送番組審議会議事録

1. 開催年月日 2021 令和3年7月15日(木曜日)
2. 開催場所 弊社事務局
3. 委員出席 委員総数5名、出席委員数4名
 - (1) 出席委員の氏名 小坂康雄、得上成子、中村真弓、安藤一宏
 - (2) 欠席委員の氏名 栗原さつき
 - (3) 放送事業者側出席者名 放送事業者 越野 操

4. 議題及び議事の概要、審議内容

はじめに 放送担当より挨拶、審議員委員長より挨拶

- (1) 審議事項 特集・沖縄戦を生き抜いた新垣文子さん(6月19日 午後2時～午後4時放送)
- (2) 意見交換 7月度からの番組編成について
- (3) その他事項 今後の放送番組審議会開催日程について

5. 審議機関の答申または意見に対してとった措置の内容

(1) 審議事項

(放送担当より)

今回は、2021年6月に放送した特別番組をお聴き頂きます。この番組を通じ、命の大切さ、平和な時代が幸せなことを子供たちに伝える番組です。本日のご試聴は6月19日(土)の放送です。皆さまどうぞよろしく願いいたします。

(番審委員より)

6月23日慰霊の日に合わせた内容で企画として良かった。ご本人の「生き延びられてるが、生かされている」とのコメントはとてもインパクトがありました。また、選曲が沖縄民謡で「生き抜く」を感じれて良かった。

(番審委員より)

あまりにも残酷な話で耳をふさぎたいくらいでしたが、音楽がいいタイミングでかかるので、落ち着いたのと、ご本人がさらりの話すので驚きました。

(番審委員より)

戦争体験を聴き、力強く明るい口調とあいまって、自分の戦争イメージが変わりました。ご本人の生き方、世界観を強く感じました。

(番審委員より)

長時間の番組だったので、再編集して特集コーナーの分数にし生放送内で放送してもいいのでは。

(放送担当より)

貴重なご意見ありがとうございました。

(2) 意見交換

(放送担当より)

7月から改編をしました。審議委員の皆様から、それぞれご意見をよろしくお願いたします。

(番審委員より)

日ごろのパーソナリティの訓練として、引き続き、通常放送の合間に地震情報を放送してほしい。

(番審委員より)

緊急事態宣言が発令された中で、声のトーンで、リスナーの方の救いの手となる情報発信を引き続き。

(番審委員より)

普段の放送で、皆さん優しい口調や声でとてもいいと思います。

(番審委員より)

SNSやホームページの運用で放送のエビデンスとして活用すべき。

(放送担当より)

大変貴重なご意見ありがとうございました。今後とも感染対策をしつつ、スタジオ運営と放送運営をしていきます。ありがとうございました。

(3) その他事項・今後の放送番組審議会開催日程について

次回は 令和3年9月16日(木) 10:00～

次々回は 令和3年11月18日(木) 10:00～

上記の通りご予約ください。

6. 審議機関の答申または意見の概要の公表

公表の方法 放送事業者が行う放送(放送番組審議会が、必要とした場合に限る。)

当該事項を記載した書面の放送事業者の本社への備置き

放送事業者の電子公告(<http://www.koshigaya.fm/>)で行なう。

公表の内容 上記1.3の人数及び4から6までの事項

公表年月日 令和3年8月2日

7. その他参考事項

特に無し

令和元年	株式会社エフエムこしがや	CFM	第01-06回番審
------	--------------	-----	-----------